

口後致 赤羽被服工廠職工

7. 臨監折審委員 王子折審より志控より三十名

8. 評 議 士 等

9. 配布印刷物 等

10. 講演口説の大要

横田君一 労働者は何物にも依頼することなく自ら自由を得るパソの由を自ら解決せよとの旨を理介の労働者は人々の意識に醒めぬべからず

安達社 前記三ヶ條の要求條件を陸軍當局に提出すなれば本社の決議に就きて賛否を求めぬるも是れを裁するものなり

横田緊急勸諭を提出し解散に決す

11. 其他人事次、被服廠庶務課長 森氏と初め人事課長 經理課長 憲兵 赤羽打見張りの居たる為め職工は傍聴すると仰せり

2. 職工若し馬山庵に入り傍聴せんとすれば今を提携すべからずと赤羽の干渉ありたる為め馬山庵に入りはせず雨中に立ちて聴き居たり